

在宅ケア研究会「在宅医療と地域連携」

島内連携 深める機会に



淡路支部ニュース

2012.10.2
No. 286

兵庫県保険医協会
淡路支部
〒650-0001 洲本市物部三丁目44
松本医院内
☎0799-31-0073

淡路支部は9月29日、洲本市健康福祉館で在宅ケア研究会を開催し、23人が参加した。洲本市・たかたクリニックの高田裕先生が話題提供した。

(2面に詳報)

高田裕先生が在宅医療の基本や自院での取り組みなどについて話題提供した(洲本市内)

Let's...

「祝日を原点に戻そう」運動を起そうかと思っている。一方、上見りゃキリない、下見りゃキリないと申しますが、

「敬老の日」暦の上では17日、洲本市96歳の大学教授がテレビ、ラジオに生出演。日野原重明先生は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

は9日でした。本日は100歳。ちよつと頸の傾斜

(9月28日 松本記)

協会の共済制度をお勧めします!

病気やケガによる休業に備えて。自宅療養も補償されます

所得補償 保険

うつ病等の精神疾患や認知症、地震等の天災によるケガも/入院は1日目、自宅療養は5日目から/再発も含めて通算1000日まで補償/代診をおいてもお支払い

- ご家族、ご兄弟、従業員にもお勧めください
(保険料はご加入者各自の銀行口座から引き落としできます)

ご加入者が5000人を超えました。いま話題のネット生保と比べてください

団体定期
生命保険

グループ保険

昨年度配当は**63%**
過去18年連続配当!

団体保険だから断然安い保険料/最高5000万円の保障/配偶者1000万円のセット加入あり/毎年決算剰余金を配当/いつでも増額・減額できます/医師による診査は不要

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

保険医のための医薬品、医療材料、医療機器の共同購入事業

M&D保険医ネットワーク

協会会員の開業医はどなたでもご利用OK。
40年の歴史と実績をもつ大阪府保険医協同組合が母体となって運営し、医薬品・医療器材・歯科器材・生活関連商品を数多く取り扱っています。
ご注文は電話、FAX、Webオンラインから。
Webサイトから、最新の取扱商品・価格がご覧いただけます。利用方法はお問い合わせください。

URL <http://e-mdc.jp/>

協会会員には、2か月に1回「medical net」(共同購入案内)をお送りします。



M&D保険医ネットワーク ☎ 06-6568-7159

★情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。ご希望の方は下記まで。

e-mail: hyogo-hok@doc-net.or.jp

会員投稿

猫踏んじやった 誤嚥性肺炎やつちった

洲本市・歯科 藤原 知



「誤嚥性肺炎」の専門家である歯科医の私自身がなんとそれをやらかしてしまったのである。世間様にあわす顔もない。恥じ入るところである。

38度8分の高熱が4日も続いて、せつかくの回復期リハビリの成果を台無しにし、零以下からの再スタートとなった。ベッドに縛られたことについての代償は

とっても大きい。今取り戻すべく獅子奮迅のリハビリ中。

下顎の義歯。元鉤歯のあったオーバーデンチャー部分で壊れてしまった。義歯のない方が阿部寛似で格好良いとの声があったりして、修理もままならぬままに歯無しを通してきた。食後はもちろん生活の節々に、執拗なうがいを怠らなかつたのは

言うまでもない。

しかし睡眠中はいかにせん。わが意識の及ぶところでない。肺炎から全く無防備の、異物やビールスに停留の場を提供するのど空間が存在していたのである。

退院後の不確定要素に富んだ生活。今考えても何ともならないのについて考えてしまう。意識世界ではそれは無限定に拡がって、意識では捉えられなくなる。一人歩きして現実の自分を悩ます。

今や想念の世界で議論すべきでない。実践あるのみである。そう心に断じてリハビリに専念している。

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

【FAX】 078-393-1802

【E-mail】 nishio@doc-net.or.jp

淡路支部担当 西尾 まで



在宅ケア研究会

医療・看護・介護の

地域連携強化しよう

高田先生は「在宅医療的な治療方法を紹介した。療の実際」と題し、強介した。

高田先生は「在宅医療的な治療方法を紹介した。療の実際」と題し、強介した。所としての経験と、グて、病院は疾病を取りループウェアを用いた除くことを目的とする訪問看護師や介護士とが、在宅医療は疾病の連携、在宅医療に便と共存していかなか



話題提供した高田裕先生

ればならないとすることが大切」と説明。患者が病

気になった背景 また、看護師や介護から理解するN士、ケアマネージャーBM (Narrativeなどの連携について、Bas ed、インターネット上Medicine) が求に患者ごとのグループを作成し、電子掲示板やスケジュール共有するといった工夫を有するといった工夫を

高田先生は強化型支援診療となる要件として、患者との24時間連絡体制をしなければならぬことを不安に感じる先生が多いとアンケート結果を紹介 フリーディスカッションでは、強化型支援電話一本で医師がすぐに駆問や、患者と家族の希望が食い違うようなときにはどうしたらいいかなどの議論が交わされ

「必ずしも電話一本で医師がすぐに駆問や、患者と家族の希望が食い違うようなときにはどうしたらいいかなどの議論が交わされなく、訪問看護などの連携(次号に参加者の感想文を掲載予定)

インターネットで保険医協会へアクセス！！

★情報満載！兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

★会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

e-mail:hyogo-hok@doc-net.or.jp

